

Elazzo

SEAT COVER



SUZUKI

FRONX

専用シートカバー取付説明書

Clazzio

SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

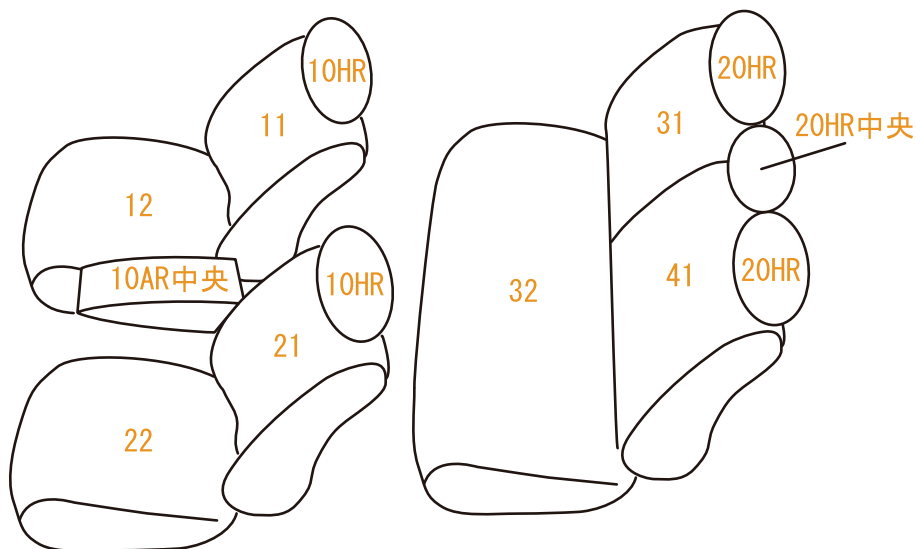
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 1P～2P
警告 サイドエアバッグについて	…> 3P～4P
1 列目座面の装着方法	…> 5P～7P
1 列目背もたれの装着方法	…> 8P～9P
2 列目座面の装着方法	…> 10P～13P
2 列目背もたれの装着方法	…> 14P～15P
ヘッドレストの装着方法	…> 16P～17P
アームレストの装着方法	…> 18P～20P
完成図	…> 20P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 21P～22P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具

①



① クラッツィオ 専用ヘラ (付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地が硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。

3P ▶



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

Step 1

1 列目座面の装着方法



- 1 シートリフターのレバーの内側にカバーを通します。



- 4 シートの背面から入れ込んだ生地を引き出します。



- 2 シートの前側から、シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。シート先端の生地がしっかりと張るようにかぶせてください。



- 5 シートの外側です。シートリフターのレバーがあるカバーの内側に、マジックテープが付いています。マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



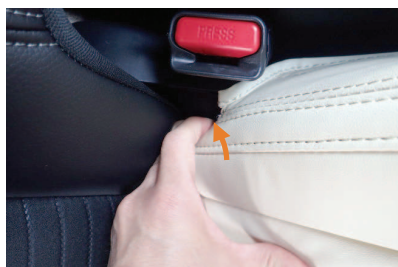
- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれを一番前に倒すと、生地が入れ込みやすくなります。



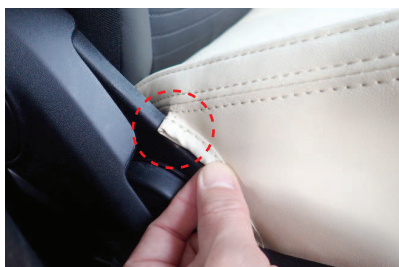
- 6 シート外側の下部分です。カバーの端にマジックテープが付いています。マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



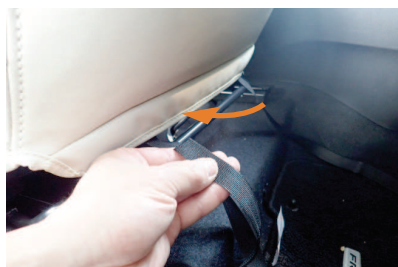
- 7** シート外側の付け根部分です。
生地をシートの隙間に入れ込みます。
指で入れ込みにくい場合は、ヘラなどを使用して生地を入れ込んでください。



- 10** シート内側の付け根部分です。
生地をシートの隙間に入れ込みます。
指で入れ込みにくい場合は、ヘラなどを使用して生地を入れ込んでください。



- 8** シート外側の軸部分の生地は、生地を入れ込む隙間がないため、出したままの仕様になります。



- 11** カバーの前側に2本のベルトが付いています。
ベルトをシートの裏側を通して、シートの背面へ入れ込みます。



- 9** シートの内側です。
シートとコンソールの隙間に生地を入れ込みます。生地の端に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 12** シートの背面から入れ込んだベルトを取り出します。



- 13** シートの背面から取り出したベルトを、4番で引き出した生地についているバックルに通します。



- 14** ベルトの通し方は、図の①～③の順番にベルトをバックルに通し、引くことでベルトが締め固定されます。
ベルトを強く引きすぎると、生地が破れたり、ベルトの縫い目の糸が切れる恐れがあるので、注意してください。

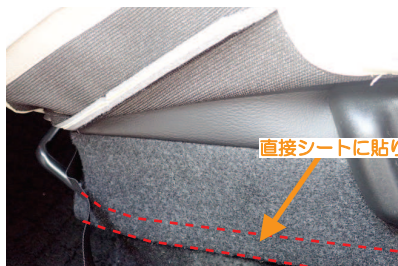


- 15** カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。

助手席



- 16** 運転席と固定方法が異なる部分を説明します。
助手席の外側です。
リクライニングレバーがあるプラスチック部分の隙間に、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



- 17** 運転席のカバーにある、5番のシートリフターのレバー内側のマジックテープは、助手席のカバーにはありません。
下部分にマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 18** カバーのラインを整えて、1列目助手席座面の完成です。

Step 2

1 列目背もたれの装着方法



注意

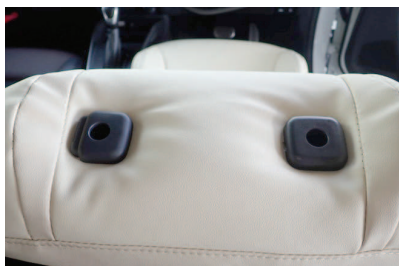
サイドエアバッグ装着車の装着方法は、3ページと4ページの『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



- 1 カバー側面のファスナーを開いた状態にします。カバーをシートのラインに合わせて、全体にかぶせます。



- 2 ヘッドレストの台座を取り出します。台座の片側に生地をしっかりと入れ込みます。



- 3 生地伸びを利用して、台座を取り出します。



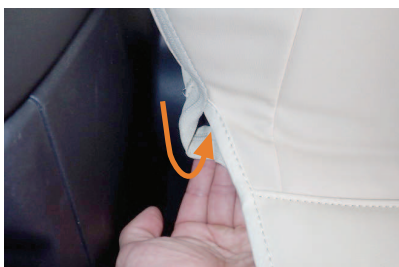
- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれを一番前に倒すと、生地が入れ込みやすくなります。



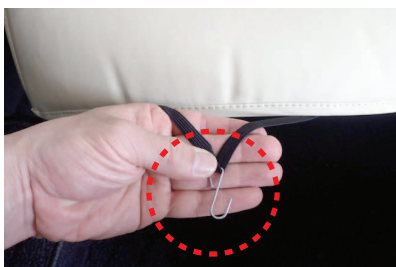
- 5 シートの背面から入れ込んだ生地を引き出します。カバーが3分割になっているのは、カバー表面の生地が、シートに馴染みやすくなるために分割しています。



- 6 カバー両側面のファスナーを、生地を内へ寄せ合いながら慎重に閉じます。ファスナーを閉じる際、ベンチなどの工具を使用して無理に閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



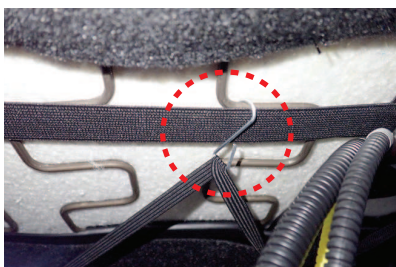
- 7** ファスナーの端はカバーの内側に入れ込みます。



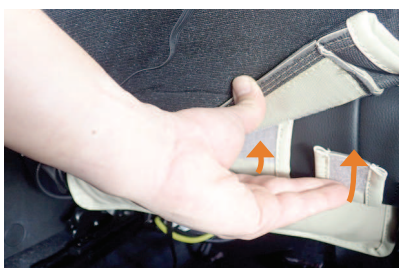
- 10** カバーの背面下の生地にゴムが付いていません。ゴムに付属の金属フックを取り付けます。



- 8** カバーをシートに馴染ませていきます。図の①～③の順番にシートに密着させるようにし、シワを無くしていきます。側面の生地がしっかりと張るまで繰り返し行ってください。



- 11** 金属フックをシート裏側の金属フレームに引っ掛けて固定します。金属フックの固定位置に特定の位置はありません。ゴムに一定のテンションが掛かる位置に固定してください。



- 9** 5番で引き出した生地と、カバーの背面下をマジックテープで固定します。



- 12** カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。助手席も同様に取り付けます。



注意

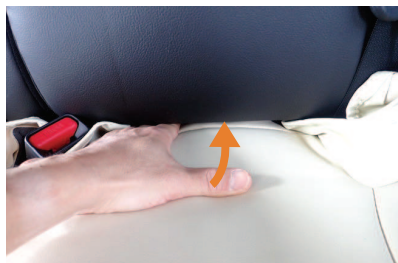
サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。

Step 3

2列目座面の装着方法



- 1 シートカバーを装着する前に、荷室からラゲッジボードを取り出します。



- 4 中央席部分です。こちらも背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



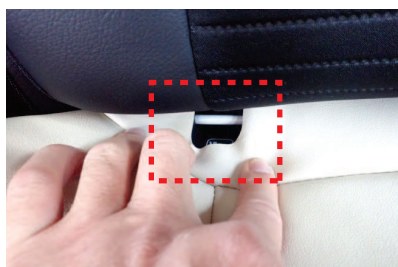
- 2 カバーを図のように広げて、シート全体にゆったりとかぶせます。



- 5 シートベルトのバックルが出ているシートの隙間に生地を入れ込みます。



- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 6 3番で入れ込んだ生地の端に、加工穴が2箇所ずつあります。加工穴からチャイルドシート固定用のアンカーが見えるように、位置を合わせます。



- 7** 3番・4番で入れ込んだ生地を、シートの背面から引き出します。



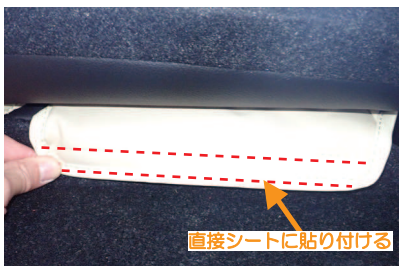
- 10** シートの背面は図のようになります。



- 8** シートの背面から見た、チャイルドシート固定用のアンカー部分です。
6番の加工穴を、アンカー周りのプラスチック部分の後ろ側の隙間に、引っ掛けるように通します。



- 11** シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



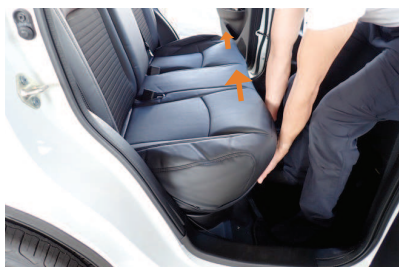
- 9** 7番で引き出した生地の端にマジックテープが付いています。マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



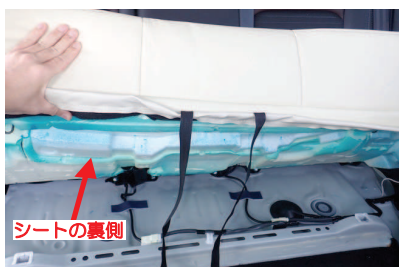
- 12** 6番の加工穴の前側を、プラスチック部分の前側の隙間に、引っ掛けるように通します。



- 13** 加工穴からプラスチック部分を全て出すと図のようになります。



- 14** シート前側の固定を、車体から外します。シート前側の裏側に手を入れて、シートを真上に持ち上げます。運転席側・助手席側共に行ってください。



- 15** シート裏のフックの固定が外れて、図のようにシートの前側から、シートの裏側が見える状態になります。シートの前側は、あまり持ち上げすぎないように注意してください。



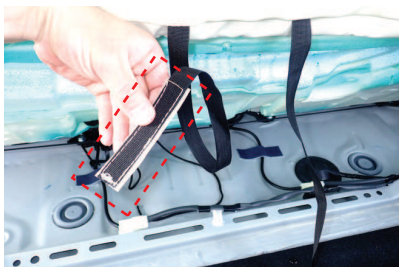
- 16** シート裏側の中央辺りに、カバーの両側面から出ているヒモを引き出します。引き出したヒモの片方で、図のように輪を作ります。



- 17** 作った輪にもう片方のヒモを通します。



- 18** 通したヒモを引くと、カバーの下回りが絞り込まれます。ヒモが緩まないように結び留めます。



- 19** カバー前側の中央に、先端にマジックテープの付いたベルトが2本あります。



- 22** シートを車体に固定しなおします。シート裏のフックの位置を合わせて、シートの図の位置辺りを、ゆっくり体重を乗せるように押さえます。フックが固定できたと思ったら、シートを軽く持ち上げて確認してください。



マジックテープが貼り付く生地

- 20** ベルトをシートの裏側に入れ込みます。シート裏側の付け根部分辺りに、マジックテープが貼り付く素材の生地があります。マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 23** 5番でも入れ込んだ、シートベルトのバックルが出ている隙間に、ヘラなどを使用して生地をしっかりと入れ込みます。生地のリブを伸ばすように入れ込んでください。



- 21** 2本のベルトを固定すると図のようになります。



- 24** カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です。

Step 4

2列目背もたれの装着方法



- 1 2列目背もたれは助手席側で説明します。カバー背面のファスナーを全て開きます。中央席のシートベルトの内側にカバーを通します。



- 2 シート全体にカバーをかぶせます。



- 3 カバー背面のファスナーを、半分程度閉じます。この時点でファスナーを全て閉じようとする、生地が内へ寄り切らないためファスナーがかなりきつくなります。無理に閉じようするとファスナーが破損する恐れがあるので、注意してください。ファスナーの先端をカバーの内側に入れ込みます。



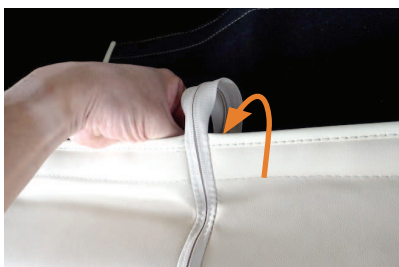
- 4 ヘッドレストの台座を全て取り出します。本革を使用したカバーでは、加工穴の端が裂けてくる場合があります。生地が裂けてきても作業を慎重に行うことで、台座の幅以上に裂け目は広がりません。作業は慎重に行ってください。中央席のシートベルトの台座部分には生地を入れ込もうとすると、台座部分の固定がすぐに外れてしまうため、生地を入れ込まない仕様になっています。



- 5 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



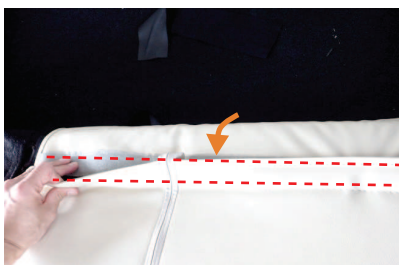
- 6 シートの背面から入れ込んだ生地を引き出します。



- 7** 半分程度開いていたファスナーを全て閉じます。
ファスナーの端をカバーの内側へ入れ込みます。



- 10** シート肩口にあるリクライニングレバーのプラスチック部分の隙間に、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



- 8** 6番で引き出した生地とカバーの背面下をマジックテープで固定します。
この際、生地が届かない場合は、シート表面の生地が余った状態になっています。表面の生地をしっかりとシートに馴染ませて、シートの背面から生地を引き出し直してください。



- 11** シートをロックする部分とカバーの加工穴の位置が合っていることを確認してください。
この位置に生地が覆いかぶさったような状態になっていると、生地が裂けたり、シートが正常に動かない可能性があります。
ロック部分と加工穴の位置が合っていない場合は、カバーの装着位置を見直してください。



- 9** シートの背面です。
チャイルドシート固定用アンカーのプラスチック部分の隙間に、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。
プラスチック部分と加工穴の位置が合っていない場合は、カバーの装着位置を見直してください。



- 12** カバーのラインを整えて、2列目助手席側背もたれの完成です。
運転席側も形状は異なりますが、同様に取り付けます。

Step 5

ヘッドレストの装着方法



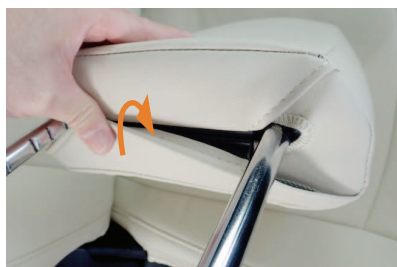
- 1 カバーを図のように裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。ヘッドレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせてください。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前になります。



- 2 裏返していた部分を左右均等に引き下ろしカバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



- 3 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏の生地を寄せ合いながら、端に付いているマジックテープを固定します。



- 4 プラスチックフックを固定します。



- 5 プラスチックフックの固定方法は、フック状のプラスチックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



- 6 ヘッドレストの裏側は図のようになります。

2列目両サイドのヘッドレスト



- 7** 2列目両サイドのヘッドレストは、まずヘッドレストの先端にカバーを引っ掛けるようにしてかぶせます。そこから、ヘッドレスト全体にカバーをかぶせていきます。



- 8** ヘッドレスト全体にカバーをかぶせて、カバーのラインを整えます。



- 9** ヘッドレストをシートから外して、1列目ヘッドレスト同様にカバーを固定します。ヘッドレストの裏側は図のようになります。

2列目中央のヘッドレスト



- 10** 2列目中央のヘッドレストは、まずヘッドレストの片方のフチに、カバーを引っ掛けるようにしてかぶせます。そこから、もう片方のヘッドレストの側面を指で少し押しながら、カバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



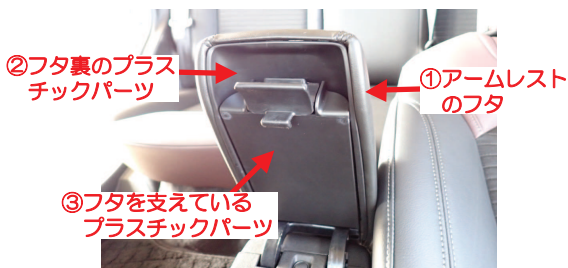
- 11** ヘッドレスト全体にカバーをかぶせたら、ヘッドレストをシートから外します。1列目ヘッドレスト同様にカバーを固定します。ヘッドレストの裏側は図のようになります。



- 12** カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。

Step 6

アームレストの装着方法



- 1 アームレストのフタを開けた状態です。フタの構造を確認してください。フタ部分は、①アームレストのフタ、②フタ裏のプラスチックパーツ、③フタを支えているプラスチックパーツの3パーツに分かれています。



- 2 カバーの前後を確認します。カバーの端が、袋状になっている方がアームレストの後ろ側です。



- 3 アームレストのフタを開いて、一番前にスライドさせます。



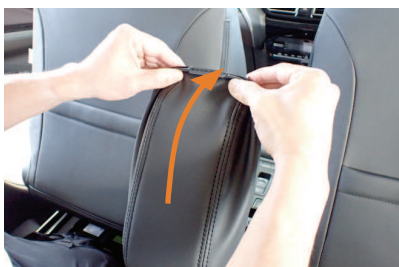
- 4 2番の袋状になっている生地を、アームレストの後ろ側に引っ掛けるようにしてかぶせませず。こちらの作業は、左右一緒にやり、ヘラなどを使用して生地をしっかりと入れ込んでください。この際、5番の生地を入れ込む位置に注意して、作業を行ってください。



- 5 生地は1番で説明している、①アームレストのフタと、②フタ裏のプラスチックパーツの隙間に挿入します。②フタ裏のプラスチックパーツと、③フタを支えているプラスチックパーツの隙間に生地を入れ込まないように注意してください。



- 6 4番で生地を引っ掛けたアームレストの後ろ側を、表側から見た図です。図の位置に生地が余っていないことを確認してください。生地が余っている場合は4番の作業をやり直して、生地が張った状態になるように調整してください。



- 7** アームレスト全体にカバーをかぶせていきます。



- 8** アームレストの先端に生地を引っ掛けるようにして、カバーをかぶせます。



- 9** アームレスト全体にカバーをかぶせたら、カバーのラインを整えます。



- 10** アームレスト先端の裏側です。1番で説明している、①アームレストのフタと、②フタ裏のプラスチックパーツの隙間に生地を入れ込みます。ヘラなどを使用して隙間を広げながら慎重に作業を行ってください。



- 11** アームレストの側面部分も生地を入れ込みます。

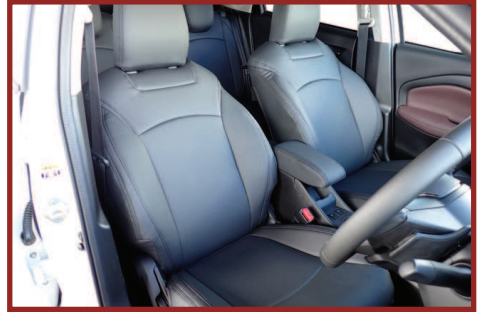


- 12** 生地を全て入れ込むと、アームレストの裏側は図のようになります。

完成図



- 13** アームレストの後ろ側は生地を入れ込みません。
生地が少し浮いた状態になることをご理解ください。



1列目



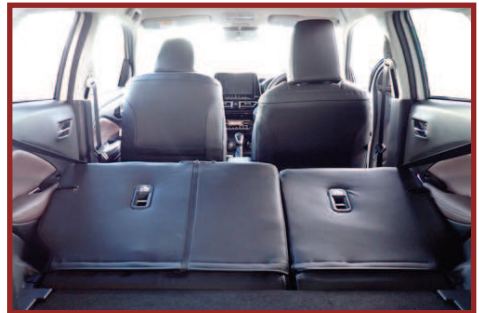
- 14** アームレストを前にスライドさせると、後ろ側は図のようになります。
アームレストを閉じた状態でスライドさせると、生地がコンソールの本体部分と接触し、生地の表面が擦れてきます。
製品の仕様上避けられませんので、ご理解ください。



2列目



- 15** カバーのラインを整えて、アームレストの完成です。



2列目可倒状態

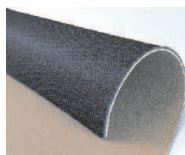


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかりと水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となります。しっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816